



# 全国連合退職校長会

# 会報



会長 挨拶

全国連合退職校長会会長 入子 祐三

## 「新型コロナウイルスへの対応」

皆様方にはご清祥でお過ごしのことと存じます。本会の事業活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和2年度の理事会・総会を6月3日・4日に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止することにいたしました。新型コロナウイルスが猛威を振るい「緊急事態宣言」が発せられる状況になり、ようやく5月下旬に解除されました。しかしながら、まだまだ予断は許されない状況にあります。

三密（密接・密集・密閉）を避けるため、理事・代議員の皆様方が一堂に会する総会開催が不可能な状況となり、「理事会・総会要項」をご覧の上、書面

によって承認いただく総会となりましたことをご了承ください。総会に関しては、令和元年度の会務報告と決算報告、令和2年度の活動目標、事業計画並びに予算案の承認、併せて4名の副会長の交代を承認いただきました。

昨年度後半以後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に追われ、教育活動が混乱する様相になり、ご心配のことと存じます。新型コロナウイルスに令和2年度の出鼻をくじかれた感じですが、全連退の総力を結集して乗り越えねばならぬと思っております。

令和2年度より新学習指導要領に基づく教育が順次展開されることになり、「主体的・対話的で深い学び」の実践や「社会

に開かれた教育課程」の実現など、これからの学校教育の目指す方向性が示され、社会の要請等に則して、外国語教育やプログラミング学習等も組み込まれました。

そして、新学習指導要領の確実な実施とともに、学校における働き方改革を進め、教員一人一人の心身の健康保持の実現と、教師としての誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境の整備に努めることが示されました。退職校長会として学校現場を支援すべきと思われる様々な課題に直面しております。皆様のお力添えをお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス対策は油断ができない長期戦になるのではないかと言われています。今後とも三密に配慮した新しい生活様式を心掛けるとともに、会議の運営の在り方を考えなければと思っております。皆様方のご理解・ご協力をお願いする次第です。

令和2年度役員一覧

監 事	常 任 理 事	副 会 長	会 長	本 部
平石鈴藤橋三村岡荻田大本須富多佐石原梅	濱北山上江新奈黒入	須賀本野本沼良坂子		
瀬田木崎本上山野原中竹間田田田藤田原	和逸比清隆年由祐	雄雄流次隆三永紀子		
仁和幹武誠裕忠仁武昭 知丈美孝秀	宮愛岡和愛柄青北東	崎媛山山知木森道京		
紀男雄利司三幸司雄光肇信清信夫王作介勤	石群山東東東東東東新長山神東千埼群茨	川馬形京京京京京京湯野梨川京葉玉馬城		

理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	地 区
田富片上(近畿地区)	川大土堀堅結江(東北北陸地区)	西稻新(関東甲信越地区)	佐佐高小木奈(東北地区)	田黒(北海道地区)	
中田山野清	合塚田田畑城本	正昭隆	俊利一幸年	崎坂由紀子	
保剛智次	俊哲繁良政正	俊一三	廣郎修治永	一郎	
和史成次	平雄男里行齐隆	千埼柄	福山秋宮岩青	北海道	
大京滋和歌	三静岐福石富愛	葉玉木	鳥形田城手森	北海道	
阪都賀山	重岡阜井川山知				

事 務 局 長	理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	理 事 (副 会 長)	理 事
佐川 々木 井 多 美 子 仁	山内安大上井伊池濱(九州地区)	濱後石北(四国地区)	田鷺塩西山(中国地区)	宮坪
東東	田村部森口上藤田砂	田藤川賀	中尾川村本	本 田 博 勝
京京	正和 耆和 圭二和	文和逸	淳 捷比香流	覬彦
	稔弘夫勲英洋二男雄	治男幸雄	夫実寛義	奈兵
	冲鹿大熊長佐福福宮	高香德愛	山広島鳥岡	良庫
	縄島分本崎賀(中)(小)崎	知川鳥媛	口鳥根取山	

全国連合退職校長会 綱領

われわれは 全国連合退職校長会の設立以来の歴史や活動を継承しわが国の教育の将来を見定め 会員としての自覚と誇りをもって ここに綱領を制定する

- 一 教育尊重の気運を高め 日本での教育の振興に寄与する
- 一 生きがいをもって生涯学び続け 充実した生き方を実現する
- 一 会員の親睦を図り 福利・厚生 の拡充に努める
- 一 地域の教育・文化の向上や 良好な環境の形成に尽力する
- 一 関係機関・団体と連携・協力して 活動の発展を図る

平成十六年六月十七日  
(設立四十周年) 制定

※この綱領は総会において、出席者全員で唱和する予定でした。

令和二年度 総会 宣言

情報化、グローバル化が急速に進展する新しい時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材の育成には、教育尊重の気運を高め、「社会総がかり」で教育を行うことが大切である。また、今日の社会保障制度改革の動向を見据えて、会員の福祉の増進に努める必要がある。

この時に当たり、全国連合退職校長会は、諸課題について考究し、時宜に応じた意見や提言を発信するなど、各都道府県退職校長会の連合体としての活動を進めていく。ここに、総会において、左記事項の実現に尽力することを宣言する。

記

- 一 各都道府県退職校長会との連携を一層密にし 健全な教育世論を喚起し教育の振興に寄与する
- 一 質の高い学校教育を実現するため 教育諸条件の整備・充実を期し 政府・関係機関への要望や意見具申を推進する
- 一 将来展望の持てる年金制度をはじめ 高齢者の負担が過重にならないよう配慮した持続可能な社会保障制度の改革を求め 会員の福祉の増進に努める
- 一 学校支援事業や社会貢献活動など地域学校協働活動への参加を通して 家庭や地域の教育・文化の振興に努め 併せて生きがいのある生涯学習を実践する
- 一 会員相互の絆を大切にし 情報の共有や共通理解を図り 校園長会や関係機関との連携を一層深め 組織の拡充・活性化を着実に進める
- 一 国民こそって教育の在り方を考える日として 国民の祝日「教育の日」の制定と活動内容の充実を図るため 関係機関や団体とともにその推進に努める
- 一 東日本大震災・原発事故をはじめとする自然災害等により被災した地域の復興と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに 会員の相互扶助と連帯の精神により支援に努める

※この総会宣言は、令和二年六月四日 第五十六回全国連合退職校長会総会において採択が予定されていたものです。

令和二年度 活動目標・事業計画

活動目標

の振興に寄与する。

全国連合退職校長会は、教

育尊重の気運を高め教育振興への寄与と会員の福祉の増進に資することを目的とし、伝

統と総意による組織活動の成果を基盤として、諸活動の円滑な運営に努め、各都道府県

退職校長会相互の連携を密にし、連合体としての充実した活動を展開する。

1 各都道府県退職校長会との連携・協力を一層密にし、組織の拡充・活性化に努め、期待され存在感のある退職校長会を目指す。

(存在感のある退職校長会)  
2 定数改善・処遇改善等の教育諸条件の整備・充実を図るため、研究・協議を深め、時宜に応じて政府・関係機関へ要望や意見具申を行い、教育

の振興に寄与する。  
(教育の振興)  
3 安心できる社会保障制度の確立について関係機関に要望を行い、会員の福祉の増進に努める。  
(会員の福祉の増進)  
4 教職員が本来の教育活動に専念できるよう、外部人材の活用や「チーム学校」の仕組み等の働き方改革に関し支援を行う。  
(働き方改革への支援)  
5 地域全体で子供たちの成長を支え、地域の教育力の向上を目指す地域学校協働活動等への参加を通して、家庭や地域の教育・文化の振興に寄与する。  
(社会貢献活動)  
6 教育関係諸機関・団体と連携し、相互の協力・交流を深め、諸事業の円滑な運営に努

める。

(諸機関・団体との連携)

7 会員相互の絆を大切にし、会報等諸情報の共有と共通理解を図り、校園長会との連携を一層深め、組織の活性化に努める。

(組織の活性化)  
8 生きがいのある生涯学習を実践し、会員の交流活動や研修・親睦を深め、豊かな生き方の実現に努める。  
(生涯学習と豊かな生き方)  
9 国民こそぞって教育の在り方を考える日として、国民の祝日「教育の日」の制定並びにその活動内容の充実を図り、教育尊重の気運の喚起・醸成に努める。  
(「教育の日」の推進)  
10 今なお復興途上の東日本大震災・原発事故をはじめとする自然災害等により被災した地域の復興と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに、会員の相互扶助と

連帯の精神に基づいて支援に努める。  
(激甚災害地支援)

事業計画

総務部

《総務部長 田中昭光》

1 本会の綱領や教育憲章の精神及び各退職校長会の意向を踏まえ、年度の目標を定め、各組織間の連絡・調整・相談等に当たるとともに、諸事業の円滑な進行、諸課題の解決に努める。  
2 総会、理事会、副会長会、常任理事会等の企画・運営に当たる。また記念講演の企画・実施に努める。  
3 関係省庁や中央教育審議会等への要望・意見具申・提言に努める。  
4 文部科学省初等中等教育局長との教育懇談会の企画実現に努める。  
5 全国組織の教育関係団体と連携するとともにその支援に

努め、本会の存在意義の高揚を図る。

に、国民の祝日としての制定を国に働きかける。

広報部

《広報部長 村山忠幸》

する。

- 6 全連退情報・会報の発行やホームページの充実に努め、各都道府県退職校長会への迅速な情報提供をするとともに、情報の共有化を図り会員の連帯感の醸成に努める。

- 2 「親が子供を叱ることの大切さ」について調査研究する。
- 3 「全連退教育憲章」の趣旨の徹底・普及に努める。

- 1 全連退の機関紙として、会報には主要な会議や中央省庁等への要望活動、教育情報等を掲載する。
- 2 本年度は、年4回(216号、219号)の会報を発行する。発行予定日は、6月30日、9月30日、1月1日、3月15日とする。

- 3 組織の基盤を固め、会務の円滑な推進を図るために、「財務状況健全化検討会議」を継続し、将来につながる対応策を検討する。

7 「令和2年度 年間紀要」

生涯福祉部

《生涯福祉部長 岡野仁司》

《教育課題委員会 橋本誠司》

の編集発行に努める。

- 1 生涯学習活動の振興・充実に係る情報の収集と広報に努める。

- 3 新会員勧誘支援用として、217号(9月30日号)または218号(1月1日号)を希望する

- 1 文部科学省等の情報を収集し、当面する教育課題「デジタル教科書の導入」について調査研究する。

8 「令和3年度の活動目標・総会宣言」の素案を作成する。

9 「財務状況健全化検討会議」「組織対策検討会議」「運営対策会議」の検討結果を部長会

- 2 会員並びに後進の生活安定・安全に係る情報の収集と広報に努める。

- 4 全連退ホームページの更新を適宜行う。

- 2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校教育の現状と課題について検討する。

10 研修会を企画・運営し、情報の収集に努める。

教育振興部

- 3 年金・高齢者医療・介護等の改善・充実に係る全連退の提言・意見を日本退職公務員連盟等と連携して関係省庁に要望する。

会計部

事業委員会

1 「教育の日」について、未

- 4 叙勲における義務教育関係者の格上げと叙勲枠の拡大を関係省庁に要望する。

- 1 各都道府県退職校長会と綿密な連携を図り、会員数の確保や増収に努める。

- 1 各団体の総会日程の把握及び祝意に関する事業を行う。

並びに制定都道府県・市町村の

- 5 米寿・上寿を迎える会員を調査し、賀詞・寿詞を贈り長寿を慶祝する。

- 2 諸事業が順調に進められるよう、財務の適切な執行・運用に努めるとともに経費節減のための事業の見直しを検討

- 2 各団体の概要の収集・整理を行い、存在感のある事業等を紹介する。

事業の充実に寄与するとともに

- 《教育振興部長 荻原武雄》

- 3 本部としての研修及び情報交換に関する事業を行う。

- 《事業委員長 藤崎武利》

## 退職教員に向けた

## 文部科学大臣のメッセージ等について

文部科学省は4月21日、全国連合退職校長会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国特別支援学校長会等に向け、次のような通知を送付してきました。

《今般の新型コロナウイルス感染症対策に伴い、文部科学省では、臨時休業に伴う補充のためは、授業や補習の実施など、各教育委員会や学校における学習の遅れを補うための取組等を支援するため、教員の加配や学習指導員の追加配置を支援することとしています。また、各教育委員会においても、今後、新型コロナウイルス感染症対策にかかわる各学校の状況を踏まえ、教員の加配や学習指導員の配置、地方単独事業の実施、ボランティア等の活用を通じて、新たな人材確保が必要となる機会が多々出てくることが想定されます。そのため、教職を一度退職された先生方には是非ご協力を頂きたいと考えており、文部科学大臣よりメッセージを發出いたしました。つきましては、全国連合退職校長会におかれましては、各都道府県の退職校長会に対して、周知いただくとともに、各教育委員会と連携し、人材確保にご協力いただきますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。》

すべては子供たちのために、教育関係者が一致団結してこの難局を乗り越えることができるよう、皆様からのお力添えを心よりお願い申し上げます。》

全国連合退職校長会は4月23日、文部科学省からの依頼文書4枚を、各都道府県の退職校長会に発送しました。

後、全国の教育委員会や学校

## 教職を一度退職された先生方へ（ご協力をお願い）（全文）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国各地で学校の臨時休業を実施し、今も尚多くの学校で臨時休業が続いています。今後、学校が再開された後の学校現場では、これまで経験のない状況下において、休業中の学習の遅れを踏まえた補習の実施や、長期休業の影響で生活リズムが崩れた子供たちへの支援、障害等により特別な支援が必要な子供たちへの支援、配慮が必要な家庭の子供に対するきめ細かな支援など、これまで以上に、教職員が一丸となって子供たち一人ひとりと向き合っていく、きめ細かな支援や配慮を続けていかなければなりません。

文部科学省では、学校再開後を見据え、学校の教育活動をサポートするための人的配置の支援に向けた取組を進めています。これに伴い、今後、全国の教育委員会や学校において、学校をサポートするための人材募集等が始まることを想定されます。そこで、全国の教職を一度退職された先生方のお力を是非とも貸して頂きたいと思っております。

子供たちや学校のことをよくご理解されている先生方からのご協力があれば、学校現場は勿論、子供たちや地域・保護者の皆様にとっても、安心感は大きく、大変心強いと思います。遠方の市町村に無理に行っていたり必要はなく、お住いの市町村や近隣の学校における人材募集等の際には、是非ともご協力をお願いいたします。

すべては子供たちのために、一致団結してこの難局を乗り越えることができるよう、皆様からのお力添えを心よりお願い申し上げます。

令和二年四月

文部科学大臣 萩生田光一



## 秋田県の活動状況について

秋田県退職校長会

会長 高橋 一郎

秋田県でも年度当初から、国の緊急事態宣言のもと、多くの会議や活動が制限されました。今年度は、総会が開催できず、理事による書面審議によって承認される異常事態となりました。今年度の活動についてもかなり制約があり、例年のように執り行うことができておりません。したがって、活動状況については昨年度の秋田県退職校長会結成50周年事業について報告させていただきます。

記念事業は、大きく「50周年記念誌の発行」と「式典におけるシンポジウム」に焦点が当てられると思います。

記念誌には、戦後からの秋田県教育の営みと学習指導の現状が掲載されています。秋田県は全国学力・学習状況調査におい

て上位を維持してきているわけですが、そのことは一朝一夕になつたわけではなく、約50年にも及ぶ研鑽と教師たちの真摯な誠意ある努力が実を結んだと信じ、その実証を試みたものです。60ページ余の記念誌として公開できました。

式典におけるシンポジウムは、記念誌の内容をベースにして、会員である濱田眞氏をコーディネーターに、有識者として東北大学大学院の有本昌弘教授、平成帝京大学山本佐江准教授、現職からは秋田市の鈴木巧校長をシンポジストとして、『『あきたブランド』創造の教師たち』のテーマのもとに展開されました。参加者からも質疑・意見があり、大きな成果を得てのシンポジウムになったと自負しております。

新たな51年目が、大変な事態になつたと驚愕しておりますが、前向きに捉えて、ここで踏ん張つて、大いに蓄電したいものなどと考えております。

ご指導ください。

## 支部との連携を深めながら

宮城県退職校長会

会長 小山 修

宮城県退職校長会は、昭和40年に会員数187名で結成された。現在は、14支部、会員数2000名を超える組織として発展している。

本会は、本県教育の振興に寄与することを第一の方針に掲げ、各支部活動の充実を図りながら、事業を展開している。

### 一 「みやぎ教育の日」の推進

本県では、11月1日を教育の日、11月を教育月間と位置づけて活動している。教育の日にはみやぎ教育の日推進大会を「実践発表」「アトラクション」「講演」の三部構成により開催している。例年、150名ほどの参加者を得て盛大に実施している。さらに、全ての支部が、特色のある事業を行っている。

### 二 各支部との連携の強化

各支部から推薦された新入会員と本部役員との「新入会員懇

談会」を実施している。新入会員が本会の活動についての理解を深め、活動意欲を高めるだけでなく、本会としても今後の事業推進に学ぶことの多い会となっている。

また、各支部活動の充実のために、「地区役員との教育懇話会」の果たす役割も大きい。テーマに基づいた話し合いや支部の特色ある活動についての話し合いを通して、学び合う場として有効に機能している。

### 三 組織強化のために

会員数は、ここ数年微減傾向にある。この解消のために、新入会員の加入率向上に力を注いでいる。現職校長会との教育懇話会を実施したり、退職予定者への学校訪問をしたりするなど、支部の実情に応じた取組を行い、成果を上げてきている。

今後さらに、支部との連携を深めながら、魅力ある退職校長会を目指して日々努力していきたい。

## 県総会の地域開催

三重県退職校長会

会長 川合 俊平

「組織強化」については、東海北陸地区協議会でも毎年、協議会として取り上げられ、意見交換もなされている。

ここでは、本県退職校長会が、「組織強化」の一環として取り組んでいる「県総会の地域開催」について、紹介させていた

野市で開催した。本会も従前は、事務局のある津市で例年総会を開催していたが、平成26年度に初めて、当時の本会会長の所属支部である熊野市で開催した。

その後、四日市市（28年度）、伊勢市（30年度）、そして今年度は伊賀市（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）と津市と交互に隔年で実施している。例年、津市での総会では、遠方からの出席者は少ない状況であるが、地域での開催により、その地域の多くの会員の参加を得ることができた。

また、運営面でも、会場確保、

記念講演の講師依頼や昼食懇親会の準備等、総会開催に係る中心的な役割を担っていただいている。

前述のように今年度の伊賀市での県総会は中止となったが、伊賀地域の各支部には、引き続き、来年度の開催地として、お世話になる予定である。

また、県総会未実施の地域からは、総会開催地域をローテーション化してはとの提案があり、今秋の県理事会で協議することとしている。

このように、隔年ではあるが、県内各地での総会開催が、組織強化につながることを確信している。

さらに、会員からの総会出欠報告ハガキに、170字程度の近況等を添えていただき、文集「いきがい」として製本し、各支部を通じて全会員に届けている。この取り組みも、今年度38年目を迎える。

今後も、県内21支部との連携をさらに強化し、諸活動の礎となる盤石な組織づくりに努力していきたい。

## 第52回岡山県教育問題懇談会を終えて

事務局長 山田 育徳

岡山県退職校長会では、毎年

教育問題懇談会を開催し、本県の教育の現状と課題について話し合う場を設けています。この会は昭和44年に発足し、今回で52回を数えています。

参加者は県教委と市教委から5名、現職の小中高それぞれの校長会長と副会長、そして退職校長会役員の約30名です。

昨年度の会では、次のような課題が挙げられました。

○小学校・・・①授業の持ち時間が多く、教員の使える時間は午後4時から5時。空き時間は他の教員のサポート等でなくなる。②学校以外の仕事の割り当てが多い。地域・保護者・教員の本当の意味での連携が必要である。等

○中学校・・・小学校で学習習慣がついているのに、小6より

も学習時間が少なくなっている。②校長会は研究をする会ではあるが、働き方改革をどう進めていくかについても取り組んでいく。等

○高等学校・・・①学校数が少なくなると教員の数も少なくなり、十分な専門の教員をそろえることが困難になる。②教員だけでなく管理職の働き方改革を進めなければ、管理職へのなり手がいなくなる。等

どの職種からも業務量の増大等により、教員の担うべき業務に専念できる環境が確保されていないということが発表された。そして、退職校長に対して、

①外の団体から様々な役割を要求されているが、新しい役割分担の話をしてほしい。②再任用や講師で短時間でもいいので学校に入ってほしい。等の要望が出された。

第52回の会では「働き方改革」が話題の中心となり、退職校長会として何をなすべきか深く考えさせられる時間となった。



## 黄鳥倶楽部の活動について

黄鳥倶楽部(愛媛県)

代表世話人 北須賀 逸雄

黄鳥倶楽部は、昭和四十二年六月一六日に、愛媛県高等学校校長協会の会員であった退職校長をもって組織され、今年で五三周年を迎えております。令和二年四月三〇日現在、会員数は二八九名です。黄鳥倶楽部は「おうちようくらぶ」と読み、退職してもまだまだくちばしが黄色い雛のようなものであるという意味合いから名付けられたと言われています。

本会は、会員の研修と親睦を図ることを目的に活動しています。まず、黄鳥倶楽部総会を年二回以上開催することを原則とし、春の会(五月)と秋の会(一〇月)を開催しています。会では、総会とそれに続く懇親会を通して、会員同士が旧交を温め合い、大いに盛り上がります。白寿、米寿、喜寿を迎えた会員には記念品を贈り、会を挙げて祝います。総会では、全会

員の近況報告をまとめたメッセージ集を配付し、所属意識を高めるとともに、連帯感を深めています。

また、白秋会と呼ばれる趣味の集いがあり、晩秋の頃に、白秋会展を開催しています。作品は絵画や版画、書道、写真、陶芸、手芸等と多岐にわたり、毎年、見事な作品が展示され、来場者は感心しながら見入っています。

研修及び学校支援等の活動については、「えひめ教育の日」の推進主体である推進会議の正会員として、総会や推進大会、推進フェスティバル等に参加するほか、再任用教職員として、初任者研修の指導にあたり、援金の寄贈や愛媛県の子どもの愛顔応援ファンドへの寄附等も積極的に行っています。

今後とも、所属感、存在感が得られる活動を進め、会員の絆を一層深めていきたいと考えています。

## 「結成50周年」に思う

熊本県退職校長会

会長 大森 勲

熊本県退職校長会は、今年、結成50周年の記念すべき年を迎えた。ところが、現在、世界中が新型コロナウイルスの禍中にあり、本会の組織もまさに機能停止寸前の状態に陥っている。6月7日に予定した記念式典もやむを得ず12月に延期したが、その開催も危ぶまれる。ただ、何らかの形で、式典だけは開催したいと考えている。

さて、50周年を迎えた熊本県退職校長会の結成に至るまでには、次のような経緯があった。まず、昭和40年の全国連合退職校長会の設立を契機に、九州各県の代表が熊本に集まり、組織づくりについて協議した。本県では、その後関係者で連絡調整を図り、ついに昭和46年、会員392名で発会したと記録に残る。昭和から平成、そして令和へと時代は移り、学校教育にも大きな

変化があった。「黒板とチョーク」に代表されるかつての教育は、情報教育の時代を土台に、今や人工知能が社会を動かす「Society5.0」の時代へと向かうおうとしている。学力観も「知識と技能」から「未知の社会を切り拓く力」を志向し、教育内容や指導技術も急激に変化していることに驚く。

熊本県退職校長会は、教育振興と会員の福利厚生を結成の理念とし、「誇りと絆」を旗印に、12の郡市退職校長会が連携の取れた活動を行っている。

この結成50周年の記念の年が、コロナ問題の対応に迫られる年になったことは、きっと将来にわたって何かと記憶に残ることであろう。コロナ問題が終息すれば、社会の様相や価値観は大きく変化するに違いない。

私たち熊本県退職校長会は、これから迎える新しい時代に対応できる組織として、新たな第一歩を踏み出したいと強く念じます。

地方の会報紙より

鹿児島県退職校長会

「会報」第192号

恩師との再会を果たして

鹿屋市 藤田 芳昭

「お久しぶり。お元気でしたかあ。」

耳に心地良い張りのある声と笑顔はまったく変わっていないかった。初夏の爽やかな風が、一気に47年前の中学2年の教室へとタイムスリップさせてくれた瞬間であった。

私は、定年退職後の7月初旬、同級生3人と熊本市在住の恩師、A先生（女性）に会うため、わずか一時間足らずの新幹線の旅を修学旅行気分です。

A先生は、ご結婚のためにその年の12月に退職されたため、わずか9か月間の担任と生徒との関係であったが、今思えば、時間の長短には関係なく、私の人生を決定づける出会いであったと思う。A先生の厳教慈育（常に丁寧にかつ分かりやすく

教え、ときには眼で叱ってくださった）のお姿と生徒を多面的に肯定的に観る感性は、私自身の教師生活38年間の土台となっていたことをお伝えすることができた。出会いと別れ、そして再会。人生の感動を味わった。



石川県退職校長会

「会報」第93号

孫と一緒にサッカーを：

孫から元気を！

金沢 加藤 幸三

現在、県内で最も古いシニアのサッカークラブ「金沢フェニックス」に所属し、四十歳から九十歳まで百数十名からなるクラブ員の世話をしている。会員は昔、慣れ親しんだ仲間とプレーを楽しんでいる。七十三歳の私は七十歳以上のロイヤル大会等の試合に備え、週一回ミニゲームを中心に練習している。冬季は体育館でフットサルを行い、足腰を鍛えている。昨年は例年より多くの大会「交流試合、全



国大会予選」などがあり、三重・和歌山・長野・福井県に遠征した。大会では全試合出場し、ケガも無く納得の一年だった。「七十歳で本場に走っているの！」とよく聞かれるが、スピードこそ無いが慣れたもので、かなり激しい試合を行っている。無事プレーできるのも日頃の練習の賜物であろう。今年のも印象に残った試合は「孫と一緒にサッカー」で、親（七十代・じいちゃん）、子（四十代・親）、孫（小学生）の親子三世代の交流試合を我がクラブが大会を主催し、実現できたことだ。私も孫と一緒に参加し「じいちゃん凄いな！なかなかやるね！」の孫の声が今も心に残っている。サッカーの本当の楽しみを実感した大会であった。

これからも生き生きと元気にクラブの目標である生涯現役を目指していくつもりである。山口県退職校長会 山口県退職校長会 「会報」第116号 広げよう 笑顔の輪を 萩支部 池田 輝雄 退職後三年間の社務務めを終え、第二の人生を地域社会のためにと考えていた。早速老人クラブからの誘いを頂いた。それが私のグラウンド・ゴルフ（G・G）の始まりであった。 早朝出勤、夕刻帰宅の三十八年間で地域の方々との馴れも薄く、若輩で違和感もあったが、和気あいあいG・Gを楽しみ、少しずつ親しみも深まってきた。間もなくして、市G・G協会設立に携わり、事務局長から会長へ、又日協一級指導者県副会長と重責を担うこととなった。 G・Gは、昭和五十七年鳥取県泊村教育委員会により「いつでも・どこでも・だれでも」できる生涯スポーツとして誕生した。ルールも簡単で高い技術も必要なく、体力づくりや仲間との交流がもてる高齢者に最適な

スポーツである。

健康が幸せの源である。このG・Gを是非普及させたいとの使命感を抱き、組織・運営にも常に工夫と新鮮味を加えた。今では会員も増え県下三番目の協会にまでなったことは大変うれしいことで大きな励みとなった。G・Gは、交流とふれ合いを楽しむスポーツである。健康であればこそ、楽しみも、よろこびも、未来もある。健康長寿社会に向け、G・Gを通して地域に歓声が響き合い、笑顔の輪が広がり、みんなの日々の生活が明るく、豊かになることを願っている。

私も馬齢を重ね八十路半となり、日々の健康のありがたさを痛感しつつ、今後ともG・Gの魅力を発信し更に普及・発展に努めていきたい。

尚、私たち退職校長園長会支部でも三十数人の仲間が毎月定期的に健康維持、交流を大切にG・Gを楽しんでいる。



鳥取県退職校長会

「積雲」第91号

### 歌で笑顔に

東伯 藤村 実千子

「歌ってええなあ」

これは、私が所属している地の元のコーラスグループの合言葉である。練習のたびに発声や他のパートと合わせる難しさを痛感するが、歌詞を覚えたり腹式呼吸をしたりすることで脳が活性化し、心身ともに健康になった気がする。また、世代や職種の違いメンバーとの新たな人間関係は、退職後の人生に彩りを与えてくれている。

私たちのグループは、発表会に出場するだけでなく、高齢者と交流するボランティア活動もしている。交流の際には、童謡・唱歌・歌謡曲などの中からよく知られている歌を披露し、一緒に口ずさんでもらったり、手遊び・肩たたき・リズム打ちなども取り入れている。交流を終わって帰るとき、「有難う。また来てよ。」とか「上手だったわ。」

などの言葉をかけてくださる方もあれば、手をぎゅっと握って別れを惜しんでくださる方もあり、胸がいっぱいになる。

歌は、人々を元気づけるものだと思う。これからも様々な歌を多くの人に届け、聴いてくださる方を笑顔にしたいと願う今日この頃。そのためには、まず私自身が笑顔で歌い、思いを伝えていかなければと言いきかせている。

岐阜県退職校長会

「彩雲」第192号

### ずっと学び続けていきたい

下呂市支部 田口 誠一郎

私は退職して今年で十年目である。夜は塾の講師をしているが、とても楽しい時間である。午後六時から九時までの三コマを担当していて、教科は中学校の数学である。現職時代は理科の教師であったが、数学を教えたいという願望がずっと心にあった。それが塾という場で数学を教えられるというチャンスを得た。

もらえ、ワクワクして勤めている。生徒が「わかった！」と理解してくれたときは、現職時代のように充実感を味わうことができる。

昨年度は生徒の手前、中学校卒業程度の検定には合格していなければ！と、数検三級に挑戦した。今年度は高校一年程度の準二級に挑戦しようと、息子の残していった参考書で、学んでいるところである。高校時代に確かに学んだはずなのに、ほとんど忘れていた。記憶を呼び戻すのにかんがりの苦労があるが、自分自身の興味関心に基づく動機なので、食卓にいつも過去問題集を置いて、時間のあるときに挑戦している。心のどこかに認知症防止！があるのも事実であるが、なんとか一級合格を目指して学び続けたい。

山形県退職校長会

「会報」第107号

### 星空案内

西置賜支部 鈴木 正人



私の住む飯豊町には天文台がある。平成十八年十月に開設された置賜唯一の公立天文台である。観測室の円形ドームは直径5m。その中に口径40cmのカセグレン式反射望遠鏡があり、コンピュータで望遠鏡とドームを制御し、見たい星を自動導入できる本格的なシステムを備えている。

この『いいで天文台』では、毎週土曜日（四月～十一月）を事前申し込み不要の一般公開日としている。また、月食や惑星現象などがあるときには、特別公開も行っている。平成三十年七月三十一日の火星大接近の時には、大変な賑わいだっただけで、予約による公開、各種イベントや研修会、地域に出向いての「星空教室」なども開催している。

町から天文台の運営管理を委託されているのが『いいで天文台天文研究会☆ペルセ』という会であり、現在の会員数は十五名。私もその一員として活動している。とはいえ、天文につい

ては全くの門外漢であり、ドーム内の望遠鏡を動かす技量もないので、下の広場で見えている星座を紹介したり、小型望遠鏡を操作したりするのが私の仕事である。

そんな中で、一番喜ばれているのが月と惑星の観察だ。私がそうだったように、初めて自分の目で月のクレイターや土星の環、木星の衛星を見たときの感動は大きく、子供からも大人からも感嘆の声が上がる。

ただ、星空を案内するためには学ばなければならないことが多い。本で調べたり、仙台市天文台のプラネタリウム解説を参考にしたりにしてきた。そうして改めて夜空をながめると、それまで気づかなかった星の並びがはつきり見え、いくつかの星座を見つけてあげることができた。新しいことを学ぶことは何歳になっても新鮮であり、それを人に伝え感動してもらえると喜びは倍増する。とても楽しいボランティアである。

ブラックホールの映像や「は

やぶさ2」の成功などが報道され、宇宙への関心がますます高まっている。来台者に星空の魅力をもっと伝えられるようにしたいと思っている。



福島県公立学校退職校長会

「松風」第176号

## 古文書を楽しむ

いわき支部 伊藤 紘

古文書に興味を持ったのは四十年前です。ある日、S教頭が持ってきた茶色く変色した古い一枚の紙には草書の文字がありました。

同じ学校に古文書の読める人がいて二人に読んでもらいました。

そのうちに読める字も出てきて、読めない字を□にすると、まるで、パズルや暗号を解くような感覚になりました。こんな感じになりました。こんな状況から「古文書解説辞典」を買い込んで古文書に親しむようになりまし

お二人から資料が次々に提供されて、少しずつ読めるようになる。書道や国語の知識もない私には困惑することが多くありました。

「候文」での「候」のように、頻繁に使われるのでくずし方が激しい字もあります。「候」の文字は最後には「」で表されています。その他、旧漢字、仮名、異体字ばかりではなく、誤字脱字などもあるので、注意深く読み解きます。

古文書の楽しみは、博物館や歴史資料館などの古文書を展示してある所で多少なりとも読むことができたり、古文書の中に知っている人物の名を見つけたら、知人から頼まれて古文書を解説してやったりすることなどです。

本格的に読むようになったのは退職してからです。現在は「いわき古文書研究会」に所属しています。勉強してすらすらと読めるようになり、知人や地区に貢献できればと考えています。

五反田だより (事務局)

♪春の小川は さらさら流る

岸乃すみれや れんげの花よ  
にほひめでたく色うつくしく  
咲けよ咲けよとささやく如く

昨春、代々木上原駅近くの線  
路沿いに建てられている『春の  
小川』の歌碑を探しに出かけた。

作詞の高野辰之は我が子の手  
を引いて、たくさんのメダカや  
小鮒が泳いでいた小川（今は暗  
渠となって当時の面影は見られ  
ない）のほとりを散策しながら  
想を練ったのであろう。

この春は、新型コロナウイル  
ス感染拡大、緊急事態宣言、外  
出自粛・・・五反田の事務局通  
いもままならず。そうかといっ  
てテレワークやテレビ会議もで  
きずに、もっぱら電話や郵便、  
携帯メールを頼りに、日々、不  
安や心配が募るばかりである。  
晴天のゴールデンウィーク、  
緑のそよ風に吹かれながら、久  
しぶりに「マスク」を外して愛  
唱歌を口ずさんだ。

♪卯の花の 匂う垣根に

時鳥 早も来鳴きて

忍音もらす 夏は来ぬ

五月雨の そそぐ山田に

早乙女が 裳裾ぬらして

玉苗植うる 夏は来ぬ

橋、軒端、螢、諫（いさ）む  
る、棟（おうち）ちる、水鶏：  
軽快で流れるような明るいメ  
ロディに乗せて格調の高い難解  
な言葉で綴られているが、それ  
でいて多くの人に愛され歌い継  
がれているこの歌をよくも創っ  
たものだ。改めて『夏は来ぬ』  
の素晴らしさに魅了されながら  
…。

「校本万葉集」を刊行し不朽の  
大業を完成させた佐佐木信綱の  
記念館・生家（鈴鹿市）を後に  
したのは昨秋のこと。

この数年、童謡・唱歌のルー  
ツ探しの旅を続けている。  
♪兎追いし かの山  
小鮒釣りし かの川  
夢は今も ……  
故郷の友はどうしているか？  
（コロナの世界の片隅で・HS）

◇4月

3 部長会

令和2年度 理事会・総  
会の中止についてのお知  
らせの発送

23 文部科学省よりの依頼文  
の発送

◇5月

25 部長会

令和2年度 「理事会・  
総会」要項等発送

◇6月

8 広報部会

15 広報部会

18 教育振興部会

22 広報部会

全連退ホームページ「表紙の写真」募集について

全連退ホームページの表紙を飾る写真を、会員の皆  
様から募集いたします。内容は、表紙にふさわしいも  
のであれば、自由です。写真は3～5枚で、メールま  
たはプリント写真での受付といたします。採用させて  
いただきますと、作品名とお名前を掲載して一定期間  
活用させていただきます。宛先は全連退広報部です。  
今回の募集期間は令和2年10月31日までです。

メール info@zenrentai.org  
送り先 郵送 東京都品川区東五反田5-21-13-308

編集後記

○新型コロナウイルス感染症  
が日本の各地で、世界中で  
拡大しておりますが、皆様  
はいかがお過ごしでしょ  
うか。

○全連退としては、総会をは  
じめ多くの行事・会合等を  
中止または延期せざるを得  
なくなりました。一日も早  
くコロナ問題が収束するこ  
とを願うものです。

○退職教員に向けた文部科学  
大臣のメッセージ等を掲載  
しました。多くの会員の皆  
様が御協力くださることを  
願っております。

○地方の会報紙から、多くの  
会員の声を掲載しました。  
ぜひご一読ください。

全連退会報 (216号)

発行 令和二年六月三十日  
発行所 東京都品川区東五反田  
五二一三三三〇八

全国連合退職校長会

電話 〇三三四四二八七六八

FAX 〇三三四四二八七六八

Eメール info@zenrentai.org

振替口座 〇〇一九〇九四四七二〇

○責任者 入子 祐三

印刷 株式会社 信行社

電話 〇三三四三三三六二二